



巻頭Photo センブリ (リンドウ科センブリ属)

「ニガ〜イッ! (>_<)」そんな言葉が子どもたちから聞こえてきそうな植物。

二年草のセンブリは、一年目に写真中央のようなロゼット状の姿で越冬し、翌春、中心から芽が伸び出し大きなものは30cm程になる。薬草として知られており、乾燥させ煎じて飲むことが多い。

センブリの名前の由来は「千回振出してもまだ苦い」ということからつけられたとされている。(関)



ロゼット状



ため、光合成が抑制されブドウ糖が少なく、紫外線も遮断されアントシアニンの合成がされず、カルテノイドの色である黄色となった。

写真3、葉脈を切断したため、師管・導管の働きが停止され、葉脈の切断部分から先が紅葉した。

山麓ではまだカエデの紅葉が観られます。紅葉・黄葉などの仕組みに目を向け紅葉を鑑賞するのもいかがでしょうか。(二美)

全山を紅や黄色に染め多くの人々の目を楽しませてきた紅葉(黄葉)も、恒例の「もみじまつり」の終わりとともに色合いを控えめにし、高尾山にも静けさが戻ってきた。

今回は紅葉について考えてみた。木々の葉は、夏の間はクロロフィルの色である緑色をしているが、秋になり気温が低下してくると、植物にとって大切な窒素やクロロフィルなどを分解・回収し、葉の付け根に離層を形成する。離層が形成されると師管が閉じられ、光合成により生産されたブドウ糖が葉の中に蓄積される。そのブドウ糖が分解されたクロロフィルと化学反応を起こし、アントシアニンが合成されると赤くなる。合成されないと葉に含まれているカルテノイドの色である黄色となる。

イロハモミジで、簡単な実験をしてみた。写真1、枝の途中を剥皮し師管を除去した。剥皮部分より上部は、離層が形成された状態になり、葉にブドウ糖が蓄積される。そのブドウ糖が、分解されたクロロフィルとの化学反応により、アントシアニンが合成され紅葉となった。導管は無傷のため水分は供給され、葉は瑞々しさを保っている。

写真2、葉の黄色い部分は、フィルムで覆っていた

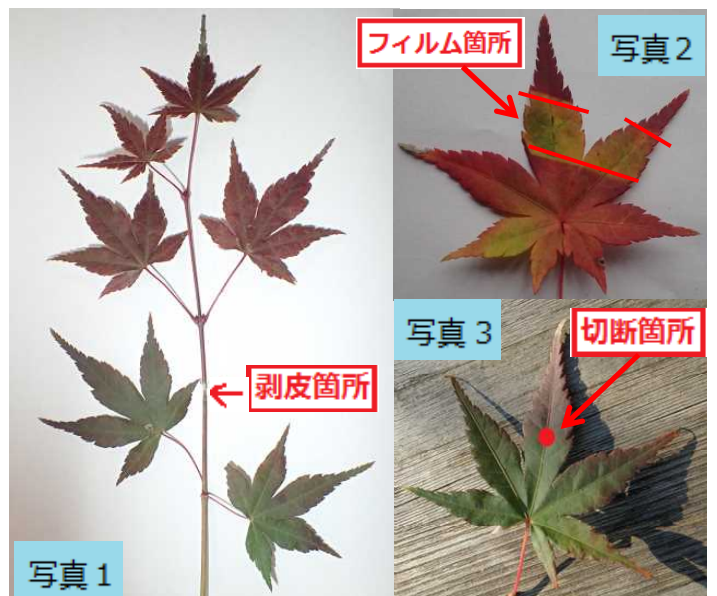


写真1

フィルム箇所

写真2

剥皮箇所

写真3

切断箇所

職場体験

八王子市立恩方中学校

10月25日～27日の3日間、八王子市立恩方中学校の2年生3名が職場体験のため当センターを訪れました。今年度はこれまでに2校の中学生が職場体験のため当センターを訪れ、今回が3校目の職場体験受け入れとなりました。

今回は、職場体験2日目に小学5年生を対象とした森林教室が予定されていたため、森林教室の準備作業や森林教室当日のスタッフとしての仕事を中心に体験してもらいました。体験初日は小雨が降る中、クワを使って歩道や林道の路面整備を体験してもらいました。さぞ疲れたのではないかと思います、「貴重な経験で楽しい時間を過ごすことができました」との感想にちょっとびっくり。午後は、森林と林業についてセンター職員から講義を受け、日本の森林林業の現状等について学習しました。

2日目は森林教室のスタッフとして、小学生への安全指導や写真撮影等を担当してもらい、3日目は森林教室用の丸太確保のため間伐作業を体験してもらいました。初めて立木を伐るという体験で苦労しながらも、伐倒、枝払い、玉切り、担いでの搬出作業をひと

とおり経験し、仕事の楽しさ、辛さを感じてくれたようです。

わずか3日間の職場体験ではありましたが、後日届いたお礼の手紙には、「きつかったけどとても楽しかったです」「良い思い出になりました」「3日間の体験を決して忘れません」等の感謝の気持ちが記されており、今回の職場体験に満足してくれたようです。(谷)

林道の整備体験。
きつかったけど、
なめらかになった
地面を見ると
達成感！



小学生の森林教室のサポートです。写真撮ったり付添いしたり。

森 林 教 室

八王子市立みなみ野君田小学校

寒さも増してきた10月26日、八王子市立みなみ野君田小学校5年生118名の子どもたちが校外学習で森林ふれあい館を訪れました。

毎週のように台風の直撃を受けてお天気が心配されましたが、日頃の行いが良いのかさわやかに晴れ上がり、バスから降りてきた子どもたちは、「おはようございます」と元気にあいさつをしながらふれあい館の中に入ってきました。開校式の後、人数が多い小学校であるため全体人数を半分にし、座学と丸太切り組と森林散策組に分かれ体験しました。

座学では、地球温暖化を題材としたDVDと森林の働きなどについて説明を受け熱心にメモをとり、質問時には担当した職員がヒヤ汗をかきながら回答していました。また、丸太切りでは慣れないノコギリの扱いに悪戦苦闘している姿も見受けられましたが、職員等の指導でコツを覚えると器用に丸太を切り、またたくまに3枚も4枚も輪切りを手にしていました。

一方、森林散策組は職員のガイドで樹木や植物などについて説明を受けながら、カツラの落葉箇所では「あっ、あまいにおいがする～」とか、レモンエゴマやクロモジのおいをかぎ「いいにおいがする～」、センブリを噛むと「にが～い」などなど授業では体験できないようなことを体験しました。山彦ポイントでは、普

段大声をだす機会がないからなのか、これ以上は大きな声は出ないだろうと思えるような声で「ヤッホ～～」とグループ全員で声を合わせ、戻ってきた山彦に感動していました。また、森林散策には、職場体験に来ていた恩方中学校の生徒も同行し、年齢が近いこともあり子どもたちと楽しくふれあっていました。

閉校式では、「丸太切りが楽しかった」「森林散策でたくさんの植物の名前を覚えられた」など体験した楽しかった思い出が発表され、職員の見送りを受けながら帰校していきました。(関)



輪切りを太陽にかざすと赤く見える！
きれいだな～

森林散策に
GO！足下注意、
ゆっくり慎重に
ね。押しちゃだ
めだよ！





横浜市立下田小学校

高尾の森宿泊体験学習の初日11月10日、横浜市立下田小学校4年生105名が、森林学習のためバス3台で森林ふれあい館を訪れてくれました。バスから降りてきた児童たちは、開校式で「おはようございます&がんばろう!」と元気よくあいさつの後、午前中は大きく2班に分かれ森林の働きについての学習と丸太切りを体験し、午後からは森林散策を行いました。

学習では地球温暖化に関するDVD(アニメ)の観賞と森林の働きについて勉強しました。また、丸太切りでは「ノコギリを使うの初めて・・・」という児童も居ましたが、切るコツを教えると上手に丸太を切り落とし、皮むきと併せて楽しんで何枚も輪切りにしていました。

昼食後は8班に分かれて森林散策に出発。センター職員の説明を聞きながら、五感全体を使いながら約2時間の観察等を楽しみました。この時期に咲く花は、リンドウやセンブリなどに限られてしまいましたが、山彦ポイントで「ヤッホっ〜!」と叫んだり、散策途中の林道に落ちている赤サング(ミズキの花序)、ドングリやアケビの実などの宝物を発見しては喜んで楽しんでいました。

閉校式で児童たちからは、「丸太切りが楽しかった。」「森林の働きがよくわかりました。」「いろいろな植物の名前を教えてもらって良かった。」などと感想が寄せられ、1日の疲れも見せず宿泊場所へ向け元気にバスに乗り込み、森林ふれあい館を後にしました。

また、毎回の森林教室にボランティアとしてお手伝いしてくれるフォレストサポートスタッフの皆様には感謝です。(屋)

木はどうやって大きくなるの? 年輪を見ながら学びます。



ヤッホー!
わっ、本当にやまびこかえってきた!



八王子市立上柚木小学校

11月14日、八王子市立上柚木小学校の5年生74名の森林教室を実施しました。

5年生の社会見学の 일환で、午前中に日野自動車の工場を見学し、午後から「ふれあい館」で、森林観察を予定していましたが、雨が降ってきた為アニメを見て様子を見ていました。すると天気も回復したので森林観察をスタートしました。子ども達は森林に入ると、コクサギの葉の匂いに「変な匂い」「好きな香り」など樹木や野草に興味津々、ヤッホーポイントでは声を合わせて「ヤッホ!」と元気いっぱい、沢の水を触り「冷たい!」「気持ちいい!」と声を上げていました。

天気ももち森林教室も無事終わり、子ども達は森林に興味を深めて帰校していきました。(皿)



見たことのない植物ばかり!
変なおいの草もあったよ。

クラフト体験

江戸川大学



11月6日、江戸川大学こどもコミュニケーション学科の学生さん35名が、学科演習の一環で、子どもの遠足を想定した保育実習体験のため、高尾森林ふれあい推進センタークラフト体験室に来館されました。



クラフト作成はセンスが試されます。
なかなかの自信作!

皆さん楽しそうに工夫しながら作品を仕上げていました。どんぐりや小枝など、自然の素材を使ったクラフト体験を、将来園児等を指導する時の参考にしていたようです。

高尾森林ふれあい推進センターでは、幼稚園・保育園から大学まで、教育機関等からのクラフト体験を優先的に受け入れています。是非ご利用ください。(松)

公募イベント つるかご編み

11月11日に「つるかご編み」を高尾森林ふれあい推進センターのクラフト体験室および展示室にて実施しました。このイベントは、林業にとって厄介な存在である「つる類」を利用することにより、森林や林業について興味を持っていただくことを目的としています。



職員から編み方の説明を受けた後、早速編み始めました。編み始めに、かごの骨組みとなるつるを十字に固定するのですが、初めての人は意外と苦労します。

あっという間に昼食の時間となり、しばしの休息です。しかしほとんどの人が食後の休憩時間も惜しんで午後の制作に取り組み始めていました。

そして楽しい時間はあっという間に過ぎ、終了の時間が迫ってきました。最初はおぼつかない手つきだった方も、気がつくとう立派なかごを完成させているではありませんか！皆さんの作品を見てみると、まさに個性溢れるオンリーワンのつるかごです。そして美術館さながらの会場は参加者の皆さんの笑顔に包まれて無事閉会となりました。出来上がった作品は未永く大切に使うことを期待します。(磯)



開会式の様子。手前の山から好きなつるを選んでかごを編みます。

編み始めは戸惑いますが、波に乗ると皆さんスイスイ手が進みます。



完成作品が一堂に会しました。お見事です！

クラフト体験

ご利用ありがとうございました！

- 7月17日 墨田区 両国幼稚園 (78名)
- 8月15日 三鷹(市役所) 森林教室 (37名)
- 8月25日 青梅市 かすみ保育園 (16名)
- 9月29日 八王子市立美山小学校 (19名)
- 10月 6日 昭島市 中神保育園 (26名)
- 10月12日 八王子市 テクノすくすく保育園(6名)
- 10月20日 調布市 なないろ保育園 (19名)
- 10月20日 八王子市 元木保育園 (42名)
- 10月26日 八王子市 まごころ保育園 (22名)
- 11月 6日 江戸川大学こどもコミュニケーション学科(35名)
- 11月22日 世田谷区 みんなのおうち保育園(24名)



編集後記

鮮やかな紅葉の季節も終わり、高尾山に本格的な冬がやってきます。

気づけば今年も最後の月になりましたが、この1年、可愛い幼稚園・保育園の子どもたちや、元気いっぱい小学生、大人になりかけ中学生、もうすぐ社会に飛び出す大学生など、色々な年代のクラフト体験や森林教室、林業体験や職場体験を実施しました。

来年も高尾森林ふれあい推進センターでお待ちしております。高校生も待ってるよ！(松)

Forest 通信 NO346

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
 林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
 〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1
 TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>